

# 2.11日本原現地闘争に結束せよ

—反民族的・反人民的な軍備増強に反対しよう—

京都の學生のみなさん！ 日本原爆會場は、西日本の最大の実射訓練の出来る爆薬場である。それは、45年の敗戦に至る迄、朝鮮半島への侵略基地としてあつた。その後、50年朝鮮戰争と同時に、元農民を全く無視した農者が強行されたのに對し、「もう戦争はなくべんだ。軍隊に協力するのを拒否する！」と、反戦・平和の闘いは始まり、今もわざり高く闘われている。

これまでの自衛隊は反動的行政をかかえ込み、幾多の鬭争破壊・分断を強めてきた。しかし、農民の三十年に及ぶ闘争は、たゞの一度も105ミリ榴弾砲の実射訓練を許さず、三里塚をはじめ全国の住民斗争との連帶を深めている。この日本農農民を励まし、共に斗うこととは、戦争に反対する我々學生の重大な任務である。

● 日米安保の下、反人民的・反民族的・反人民的な軍備増強に反対して聞こう！

みんなん！ この戦争に反対する斗いの重要性は、日本独立資本が急速に軍備増強を躍進しているからである。米ソの争いは増々激化し、我が国は一方のアメリカに従属した自衛隊の増強・核武装の道を遠ぼうとしている。

このアメリカに頼り、その言いなりになるとよって、わが国の平和と安全は約束されるだろうか！ この行く先は新たな軍事と戦争の道でしかない。今、米の対ソ防衛分担に沿つて自衛隊の増強に反対する広範な戦線の団結は、わが國の平和にとって急務である。青年学生は、平和のための斗いの最先頭に立とう。

日本原農民は、斗いの中で自衛隊の反人民的・反民族的な姿を知り、長年自衛隊の不法爆薬と斗っている。反戦と平和のため、自衛隊と斗つていい。現地農民の斗いを断固支持し、ともに斗わん！

紀元節粉砕！

三里塚連帶！

全面使用策動粉砕！

2.11 正午  
於・宮内第一公会堂付近



農民と団結し、戦闘的デモを貫徹

# 労青団京都府学生委員会